

インフォメーションディスプレイ Vol.10



でんきの科学館
副長
小宮山 良夫 様



情報担当スタッフ
西本 奈緒子 様

でんきの科学館 様

中部電力様のPR施設として、電気をはじめ環境やエネルギーについて多彩な角度からの情報を発信している『でんきの科学館』様。各テーマに分かれた6つの展示室を中心に、趣向を凝らした実験やワークショップ、イベントの開催で話題を呼ぶ、人気の施設です。参加型・体験型のスタイルを採用した館内では、子供から大人までが楽しめる仕掛けが満載。来場者数は休日で2,000～3,000人、年間で約50万人と大盛況です。



所在地：名古屋市中区

大空間に映える65型。 外光や照明にも影響されない明るさ、表現力が、 1階ロビーでお客様の目を引いています。

PN-655
1台導入
(1階ロビー)

開館20周年を節目に、2006年7月にリニューアルした『でんきの科学館』様。「でんきについて」を学ぶことを主とされていた展示内容に「地球環境について」という大きなテーマを持たせて、さらに魅力的な施設へと生まれ変わりました。

総合受付カウンターの女性スタッフの皆様とともに、1階ロビーでお客様をお迎えしているのが『PN-655』。館内で行われるイベントの紹介や注意事項、また『でんきの科学館』様のマスコットキャラクター“スーパーおうむファミリー”などが鮮やかに映し出されていきます。さらにお客様にとっての嬉しい試みとして、『PN-655』にウェルカムボードとしての役割を持たせています。ご予約いただいた団体のお客様がご来館されるごとに、『PN-655』に“WELCOME”の文字と団体名称が大きく映し出されます。

お客様をお迎えする開放的な1階ロビーで、その大空間の中でも映える大きさ・明るさが、『PN-655』の導入ポイントになりました。



総合受付カウンターから見たロビー風景。「PN-655」の画面表示を切り替えるために、サーバーとして、受付カウンターに置かれたPC-MW70Jに「e-Signage(ネットワーク版)」が導入されている。



「PN-655」を使って、館内で行われるワークショップや実験、クイズなどを告知。

導入時の評価ポイント

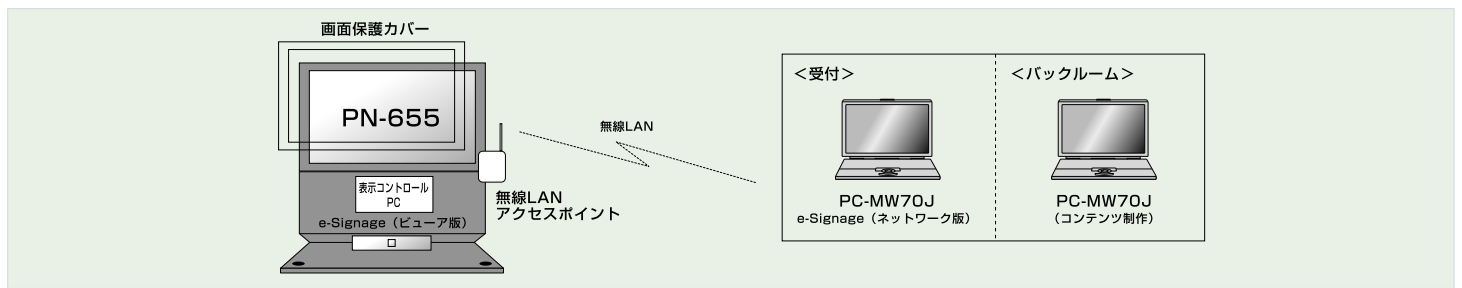
■ 大空間の中でも存在感をアピールできる
65型の大画面

■ 光彩の多いロビーでも情報をはっきりと
表示できる 明るく鮮明な画面

■ ディスプレイに保護カバーを設置しても
はっきりと視認できる高精細性

■ コンテンツの作成や配信操作が容易な
e-Signage (イーサイネージ)

■ システム概略図



導入の経緯

生まれ変わった館内での、新しい顔。
それを求めて、大型液晶ディスプレイにたどり着きました。

『でんきの科学館』様ではリニューアルにあたり、展示物以外での新しい演出効果を検討されていました。多彩な構想の中で、高い効果を期待できると考えられた一つが大型液晶ディスプレイ。「どこに置いて何に使えば最もお客様にお喜びいただけるのかを考えて、1階のロビーに設置することにしました。ご来館のお客様が、必ず目にする場所ですから。」と、小宮山副長はおっしゃいます。ロビーに相応しい液晶ディスプレイはどれかと検討した結果が、『PN-655』。ロビーでも目を引く画面の

大きさと明るく鮮明な表示に加え、コンテンツの作成・配信を簡単にできるマネージメントソフト『e-Signage (イーサイネージ)』の存在が今回の導入につながりました。また、お子様のご来館が多い『でんきの科学館』様では、子供の目線に立った安全性が問われます。そこで、ディスプレイに保護カバーを付けたり、スタンドをアンカーボルトで固定したりなど、『PN-655』に安全対策が容易に施せることも大きな決め手になりました。



ディスプレイ部には保護カバーを設置。また、スタンドだけでも十分な安定感が備わってはいるが、万が一に備えて、スタンドの左右・前後を合計4つのアンカーボルトで固定。

導入後の感想

お客様たちの喜びの表情が嬉しい、
ウェルカムボードとしての『PN-655』の効果。

総合受付カウンターでお客様のご質問に答えながら、『PN-655』と『e-Signage』を使った情報担当のリーダーを務める西本様は、こうおっしゃいます。「でんきの科学館は学習の場として、小学校や子供会といった団体のお客様がよくご利用されます。そんな皆様に喜んでいただける『PN-655』の活用法として、ウェルカムボードを考えました。ご来館と同時に団体名称が『PN-655』に表示された瞬間は、お子様たちがとても喜ばれます。」ご予約された団体様のご入館と同時に、あらかじめ受付カウンターのパソコンに入力しておいた団体名称を、マネージメントソフト『e-Signage』で『PN-655』に配信します。「スケジュールによる自動表示もできますが、ご予約いただいた皆様は定刻通りのご到着とは限りませんので、ご来館を目で確認した

後に、受付カウンターに置いたパソコンを私たちが操作し、表示しているのです。」受付カウンターのパソコンから、データを無線LANで『PN-655』に配信できることも、利点の一つです。別のフロアに設置された他社製ディスプレイは、画面近くに置かれたパソコンでしか操作できないとのこと。これが原因で、操作中にお子様たちがキーボードにふれたり、小さなトラブルもあったそうです。画面の切替えは、いわば裏方の作業。雰囲気

気づくりのためにも、お客様の注目を浴びるような場所では操作しない方が良い、というお考えです。



ご予約の団体様がいらっしゃると、『PN-655』はウェルカムボードに早変わり。



ウェルカムボードの表示は受付カウンターで遠隔操作。『PN-655』の背面には、無線LANのアクセスポイントが設置されている。

今後の展開予定

e-Signage (イーサイネージ) の利便性を存分に活用しながら、
よりいっそうの表現力に期待。

今はまだ、『e-Signage』を使いこなせていないとおっしゃる西本様。これからは『PN-655』の画面を分割しながら、動画やテロップを使っ

た表示もできるよう操作をマスターしたいと抱負を述べられます。『でんきの科学館』様での活用法が、ま

だまだ広がる『PN-655』。さらに小宮山副長は、『PN-655』を4台使い(2×2)、情報を拡大して表示することにも興味をお持ちでした。

● お問い合わせは シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03) 3260-8217 / (0743) 55-6373

2006年8月発行